

# 保南の風にのせて

<http://www.kusuna-e.edu.city.hiroshima.jp>

楠那小だより

No. 7

平成24年  
9月27日発行

## めっきり涼しくなってきました

今年の夏は、ロンドンオリンピックで日本人選手が大活躍しました。大変厳しい暑さが続きましたが、これからはしのぎやすくなり、スポーツをするにも勉強するにも大変よい季節となります。ただし、朝晩と日中の温度差が大きくなることから、体調を崩しやすくなります。風邪などひかないように注意しましょう。

また、これからは台風の季節でもあります。災害に遭わないよう気を付けていきましょう。

## ◇「基礎・基本定着状況調査」◇の結果について

6月12日に広島県全公立小中学校において実施された「基礎・基本定着状況調査」の結果が、県の教育委員会から届きました。この調査は、小学校では5年生を対象に、4年生までの学習内容がどの程度定着しているかを調査する学力調査と、併せて生活調査が行われたものです。

国語科と算数科に関する県・市・本校の平均は右記のとおりでした。

算数科については「数と計算」と「数量関係」の領域では、県・市の平均通過率とほぼ同様の結果でしたが、

「数と計算」の領域の中の、分数を表す問題の正当率が低く、「数量関係」の領域の中では、伴って変わる数量に関する問題の正答率が低かったです。

「量と測定」の領域は特に課題が大きくみられました。時間の単位に関する問題と角の測定・複合図形の面積を求める問題の通過率が大きく下回っていました。また、「図形」の領域では、直方体の面に垂直な辺、正三角形の定義・ひし形の定義をしめす問題の通過率が大きく下回っていました。

国語科については、「聞くこと」「書くこと」の2つの領域では、県・市の平均通過率を上回っていました。「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域では、市の平均通過率は上回っていましたが、県の平均通過率よりは下回っていました。ローマ字を書く問題の通過率がよくありませんでした。「読むこと」の領域では、県・市の平均通過率を下回っていました。段落相互の関係を把握する問題において、大きく下回っていました。

今回の調査結果は既に分析を進めており、今後の指導に生かしていきたいと思います。5年生の保護者の皆様には、参観懇談日等で具体的な報告をさせていただきたいと考えています。

課題として上がった項目については、授業や家庭学習を使い定着をはかる取り組みをしています。

## ◇お知らせ◇

- ① 10月4日(木)は、前期のまとめの個人懇談を行います。前期の学習や学校生活の様子についてお知らせいたしますので、お忙しいとは存じますがよろしくお願いいたします。

- ② 通学路の安全点検について  
通学路の安全点検を学校・PTA・南区役所と連携して行いました。危険箇所については、教育委員会・警察・南区役所に報告し合同で確認していただいたり、町内会等とも連携・協議したりしているところです。  
今後、危険箇所の改修・改善が進められると思います。また、来年度から通学路の一部変更も検討していますので、またお知らせします。

- ③ 夏休み前に保護者および児童を対象にした学校評価に関するアンケートを行いました。保護者の皆様には、ご多忙の中、アンケートにご協力いただきありがとうございました。

今回の保護者アンケートは、10項目に関して「そう思う」「ややそう思う」「あまり思わない」「思わない」「わからない」の5つの選択支で、また、児童アンケートは、6項目に関して、「大変よくできた」「だいたいできた」「もう少しがんばりたい」の3段階で評価していただきました。それぞれの回答を下学年(1~3学年)、上学年(4~6学年)ごとにまとめたものを裏面に印刷しております。  
このアンケート結果を参考にしながら、今後の教育活動を推進していきたいと思えます。